

# 前回のワークショップふりかえり

## ゾーニング案A



## ゾーニング案B



北側(動的なエリア)は、ゾーニング B 案  
南側(静的なエリア)は、ゾーニング A 案  
を、基本として施設配置を進める！！

### 全体

- ・周回できる園路は良いと思う。キロポストやコースサインも併せて整備してほしい
- ・芝生の維持管理(芝刈り)の回数を増やして、利用しやすい時期を多くする
- ・死角は出来るだけ作らない

### 南側(静的なエリア)

#### 【池】

- ・池の一部を水際まで近づけるようにするのは良いと思う
- ・池の北側の水深は浅くすることで安全性が高まり、水質改善にもつながる
- ・池の水質を綺麗にしたいが、生態系のバランスが崩れるのでバランスが重要



#### 【流れ】

- ・北側と同様に園路沿いに流れがあると良い
- ・池から出る水は、水質改善(浄化)できれば良い

#### 【図書館周辺】

- ・図書館中庭と公園は一体的な空間としたい  
→休憩や学び・憩いなどで相互利用を図る
- ・図書館周辺の園路は狭いので広くしたい

#### 【駐車スペース・P-PFI】

- ・既存築山の部分の一部を駐車スペースとする  
→図書館駐車場との一体的な利用とする
- ・コンビニは開店・閉店を繰り返している
- ・キッチンカーなど、都度フレキシブルに利用できるのも良い
- ・池の水質を綺麗にしたいが、生態系のバランスが崩れるのでバランスが重要

#### 【築山】

- ・冬期にも利用できる空間であるため、規模は小さくしても残したい

#### 【プレーパーク】

- ・築山の斜面や、既存樹木、流れを活かした活動場所としたい

#### 【旧ゲートボール場】

- ・地域の催しで利用するので、電源がほしい
- ・トイレは小規模でも良いから必要
- ・整備後に管理者がどこまで管理できるか気になる

### 北側(動的なエリア)

#### 【遊具広場】

- ・遊具広場は、北側に集約した方が良い
- ・誰もが楽しめる遊具(インクルーシブ遊具)は、平坦な場所にある方が利用しやすい
- ・子供がクールダウンするために利用する場所  
→死角にならないか？  
→他の公園利用者の目が届くことで、見守り・安全を確保
- ・遊具のある場所の舗装材は、ゴムやコルクなど柔らかいもの
- ・遊具は冬は利用できないため、通年利用の施設から離したい



#### 【水遊び場(噴水など)】

- ・噴水を整備する際には、メンテナンスしやすいものにする
- ・壁面からの噴水など、壊れやすいものは作らない
- ・親水空間は、流れがあるちやぷちやが池が景観に合う



#### 【既存の流れ】

- ・池より北側の流れは、水がよどんでいる
- ・町内会で、流れの水を綺麗にしてほしいという意見が出る

#### 【野外ステージ】

- ・野外ステージは無くても良いのでは  
→整備するとしてもシンプルなものが良い  
→壊れにくい素材などを使用してシンプルな施設
- ・野外ステージの位置は、野球場側が良いのでは
- ・野外ステージの規模は、既存より縮小して屋根をつけたい